

中国
南西部山岳地帯におけるアグロフォレストリー事業

現地からのお便り

2016年5月

コンサベーション・インターナショナル

整地と果樹の植樹

ガンブ村にも春がきました。3月になると、村人たちはプランテーションの準備で忙しくなります。ヤギの堆肥を土と混ぜて肥料にし、木を植えるための穴を掘ります。3月下旬に、リンゴ、イチジク、スモモ、ナツメヤシ、クルミ、サンショウなどの苗木を植えました。



デモサイトを整地し、苗木を植える様子© Wang Heng

政府からのマッチングファンド到着

昨年提出した、アグロフォレストリーデモサイトの全体計画が理県に承認されました！デモサイトのインフラ設備と家畜の飼育施設の工事のために、政府から80万中国元（約USD125,000）が助成されます。



アグロフォレストリーシステムづくりと管理運営のためのハンドブック作成

これまでに行ったエコフレンドリーな農業技術トレーニングや農場視察、専門書に基づいて、プロジェクトチームと中国科学院、成都農林研究所のコンサルタントたちで、アグロフォレストリーシステムづくりとその管理運営のためのハンドブック作成を始めました。このハンドブックには、アグロフォレストリーシステムとは何か、そこから得られる利益にはどのようなものがあるか、ということのほかにも、システムの構築方法、野菜や果樹の栽培技術、家畜の飼育方法、病気や害虫の管理、そして具体例について記載されます。完成すれば、ガンプ村の住民やアグロフォレストリーの実施に興味のあるパートナーたちに配布されます。それぞれの土地でアグロフォレストリーシステムを構築し、起こりうる問題を解決するのに役立ちます。将来的には、ハンドブックをさらに改善し、もっと広範囲に配布することで、アグロフォレストリーシステムの普及を促進したいと考えています。

コミュニケーション

整地や苗木を植える様子をプロジェクトのニュースレターやビデオのために、写真や動画で撮影しました。デモサイトの全景がわかるように、プロによる空中撮影も行いました。



空から撮影した整地済みのデモサイト© Gong Hui

理県の子ベットーチャン回廊

1990年代後半に名づけられた「チベット-チャンコリドー」は、何千年も前からその地域に住む様々な民族を結びつける大事な地域を表します。理県の Taoping Qiang 村 から馬爾康市の Zhuokeji 村まで、このコリドーの主な地域にはチャン族とギャロン・チベット族が住んでいます。息をのむような景観が広がり、様々な民族文化があります。コリドーの中心部近くにある理県は、東側のチャン族と西側のチベット族との境界部として、特徴的な文化が混ざり合う大変ユニークな地域です。

今後の予定

家畜の飼育施設の建設を開始し、保全契約の遂行のモニタリングをします。生物多様性と水と土壌の損失について年間観察を実施し、アグロフォレstryーハンドブックを完成させて配布します。野菜や芝生を植え、ガンブ村の小学校での環境教育活動を計画します。引き続き、プロジェクトの記録やビデオ撮影も行っています。

※画像および文章の無断転用はご遠慮ください。